



2025年12月12日

各 位

会 社 名 : **SCAT 株式会社**

代 表 者 : 代表取締役 社長 長島 秀夫

(コード:3974 東証スタンダード市場、名証メイン市場)

問 合 せ 先 : 取締役 執行役員 高橋 栄

(TEL: 03-6275-1130)

中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年12月14日に公表しました2026年10月期までの中期経営計画の目標数値を見直すことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年10月期見直し後の計画等

	2026年10月期目標 (修正前)	2026年10月期目標 ※1(修正後)	2025年10月期実績 (参考)
連結売上高	3,000百万円	2,630百万円	2,605百万円
連結経常利益	300百万円	200百万円	197百万円
連結経常利益率	10%以上	7.6%	7.6%
R O E	9.0%	6.3%	6.3%
P B R (※2)	1倍	0.86倍	0.86倍

※1 2026年10月期目標（修正後）の連結売上高及び連結経常利益については、2025年12月12日公表の2025年10月期決算短信「2026年10月期の連結業績予想」数値を使用しております。

※2 8月から10月までの3ヶ月平均株価にて算出しております。

2. 見直しの理由

当社グループは、2023年12月に2026年10月期までの中期経営計画を策定し、美容ICT事業、ビジネスサービス事業、及び介護サービス事業の3つのセグメント経営の推進により、持続的な成長を目指して取り組んでまいりました。

現時点においても、成長を目指した事業活動を進めておりますが、各業界のトレンドや市場環境の変化への対応、各施策の進捗状況を考慮すると、2026年10月期での当初の指標の達成は困難と判断し、業績目標数値を修正することいたしました。

主力の美容ＩＣＴ事業では、引き続き収益の柱であるシステム販売（物販）に、保守、コンテンツ、及び新たな課金型サービス等のストック収益の上積みを一層進めてまいります。

具体的には、2026年10月期のシステム販売（物販）見通しは、リース販売の買替対象ユーザーが、コロナ禍で販売数量が低調であった2020年度から2021年度の販売ユーザーとなるため、オンプレミス型システム販売において前期より減少が見込まれますが、クラウド型システムの大型バージョンアップ及び、新たなコンテンツである「cloud karte」をリリースしたことにより、課金型システムの販売を強化してまいります。これにより、システム販売（物販）の変動リスクを軽減し、コンテンツや保守等によるストック型収益の積み上げを加速させ、ストック重視の収益構造への改革を進めてまいります。

ビジネスサービス事業では、経営革新等支援機関としてお客様の経営改善コンサルティング業務の伸長に加え、会計サービスを中心とした中小企業向けバックヤードサービスの提供により、既存顧客を中心とした継続案件による安定した収益を確保し、さらにソリューションサービスを拡充してまいります。

介護サービス事業では、ターミナルケア（看取り）でのご逝去による退去は一定数ありますが、地域と連携した介護施設の運営により入居者を確保することにより各介護施設の入居稼働率が順次改善していく見通しです。また、デイサービス等の在宅介護サービスは、現在の高い稼働率を維持する見通しです。

なお、掲げている資本政策（財務戦略）・事業戦略（商品戦略・販売促進施策等）に対する変更はなく、引き続きこれらに注力し、持続的成長および企業価値向上を目指してまいります。

以上